平成30年度第2回自立支援協議会

平成30年12月11日（火）

資料5

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部会名 | 平成30年度第1回障がい児部会 | | |
| 日時 | 平成30年10月16日（水）　10：00～12：00 | | |
| 場所 | 区役所南館4階　災害対策室B | | |
| 参加者 | 【委員9名】  【事務局3名】 | | |
| 会議の公開（傍聴） | 公開（傍聴できる） | 傍聴者数 | 2名 |
| **報告事項**  （１）障がい児数の統計  　 事務局より資料に基づき説明を行った。  （２）児童相談行政のあり方検討プロジェクトチーム２発達障がい児（者）支援体制検討会について  　 事務局より資料に基づき説明を行った。  「発達障がい」という言葉が、広く異なる認識で使われているため、理解促進も含め、検討していく。  （３）特別支援学校における医療的ケアが必要な児童の統計  人工呼吸器は電気が必要であり、震災による停電時、人工呼吸器を使っている家庭がバッテリー不足により困ってしまうことが予見されるため、学校ごとの対象者把握が必要。  医療的ケアの定義について、正しい認識をしてもらえるよう周知していくことが必要。    **協議事項**  （１）第２回障がい児部会と  「乳幼児の発達を支援する関係機関連絡会」（発達ネット）の共催について  事務局より資料に基づき説明を行った。  部会員より異議がなかったため、第2回障がい児部会との共催予定。  （２）各事業所の現状についての意見交換  　・特別支援学校と特別支援学級の狭間にあるＩＱレベル、行動の問題を抱えている子どもたちにとって、どちらがふさわしい学習環境なのか検討しているが、難しい問題である。  　・未就学児の相談を担当するところが少なく、追いついていない。  　・9月18日児童発達支援事業所の連絡会を実施。区内事業者間のルールについて、見直しが必要。  　・児童発達支援事業所は増えたが、定員数はまだまだ足りない現状。  ・東京YWCAキッズガーデンが29年４月より児童発達支援センターとなり、1年以上が経過したが待機者が多数いる現状。  　・今年度、小学校での特別支援教室の設置完了、一部の中学校でも設置、巡回を開始した。  　・放課後等デイサービス事業所について、国から事業所への報酬は単一区分であったが、今年度より児童の介護や重度等を加味した新指標が追加された。  　・子ども発達支援センターでは、早ければ1か月待ち程度で受付できる状況。  　・その他、各機関の現状と問題点等について報告があった。 | | | |